昭和50年 9月5日
広報あじす版 毎月5日 発行
お知らせ版 毎月20日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話4111番㊥・〒754—12

印刷 阿知須砂郷よしの印刷

広報 あじす

№286

町の住民登録人口
（50年8月31日現在）前月比
世帯 2,091世帯 −3
人口 8.196人 −5
（男3.862人 女4.334人）
（国勢調査 昭和45年10月1日）
世帯 2.008世帯
人口 8.035人
男 3.730人 女4.305人

ここはどうなる？＝お答えします

中学校付近は道路網を一新

〔問い〕阿知須中学校付近の国道バイパスやその取付け道はどのようになるのでしょうか教えてください。

車はX型で交差 国道と県道 橋ができてから仕上げへ

お答えします。

〔質問は、中学校南方の国道バイパスと県道善和・阿知須および町道参宮道路の交差点付近のことと思います。

この一帯はバイパスが主要幹線となりますので、どうしてもこの完成待ちということになります。つまり、バイパス工事は建設省の事業として昨年はじめに着手、現在までに土工事を終えています。

この工事が仕上げに進むのは井関川の架橋工事待ちの状態です。

この橋は幅員十二、五メートル、長さ二十メートルのコンクリート橋にするためいま、橋梁メーカーに発注中です。これができれば、運んできて取付ければすぐ出来上ります。

中学校付近見取図

この橋ができると現在、阿知須中学校に通じている「浜田橋」は取りこわし、新しい橋を利用するようになります。

また、この井関川の南側道路はバイパスに取付くのと、下をくぐる道路と二つできます。平面交差するのは人・自転車用。下を通るのは車道です。

結局、ここでは路線が多くならないように、車については交差点としX型の交差点とし、人や自転車については歩道や安全帯など区分をはっきりして、事故の発生を防ぐことにしています。

信号機もつける予定です。開通は来年末の見込み。

浜表地区に橋を新設 農免道路の延長線上に

こうした工事に関連して、町では別に次のような計画をしています。

浜表方面の人には

浜田橋が利用できなくなり大変不便をかけていますが、この約二百メートル上流に新しい橋をつくります。

つまり、浜表農免道路（町道）と県道は現在T字型で交差しています。そこで農免道路の延長線上に幅員六メートルの橋を新設、対岸の道路に結びつけようとするものです。

建設省との予算折衝の見通しもついているので決定次第着手します。

且、沖の原方面の人は

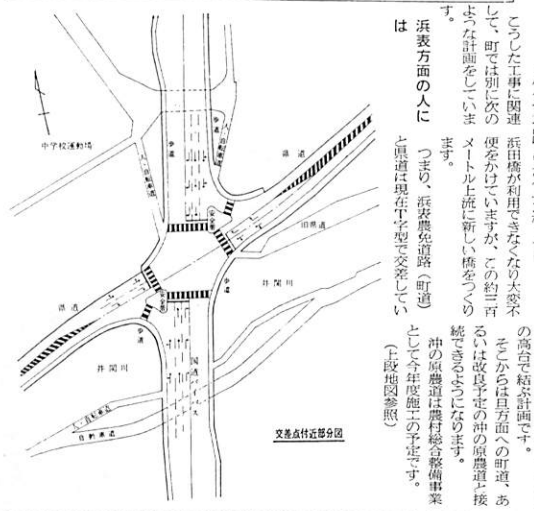
交差点と中学校運動場を結ぶ道は人や自転車用となります。自動車は中学校正門付近の新設道路を利用してバイパスに乗り入れられます。

また、将来はバイパスから参宮道路をつなぐ町道を新設、沖の原の高台で結ぶ計画です。

そこからは且方面への町道、あるいは改良予定の沖の原農道と接続できるようになります。

沖の原農道は農村総合整備事業として今年度施工の予定です。

（上段地図参照）



「五年ごと国と郷土をみなおす日」 十月一日は国勢調査

十月一日を期して全国一せいに「国勢調査」が行われます。

この国勢調査は大正九年に初めて行われ、以来、五年ごとに実施され、ことしは十二回目です。

今回の標語は「五年ごと国と郷土をみつめる日」となっており、全国約三千三百万世帯、一億一千一百万人程度を対象とする大規模な統計調査です。

これは政治や行政の資料を得るため国が法律に基づいて行なうもので、本町は四十六の調査区に分け、それぞれの調査員が各家庭、下宿、間借の先などまわり、調査票の記入をお願いすることになっています。

調査票は今月下旬に配り、十月五日ごろまでにとりまとめます。

調査票に記入していただくのは、それぞれのお宅に住んでいる人全員です。

旅行などで一時留守にしている人、長期間滞在している人、生まれたばかりで名前のついていない赤ちゃんなども必ず記入ねがいます。

記入済の調査票は総理府統計局が光学式読取装置という機械にかけて集計します。したがって、調査票が汚れていたり、折り目がついていたりすると誤って読み取ることがあるので次のような点にはご注意ください。

①汚したり、折ったり、丸めたりしないように

②裏にご飯つぶやススなどつけないように

③記入は必ず黒鉛筆（HB）で

④答をマーク（棒線）で記入するところは枠いっぱいにはっきりと

⑤文字または数字で記入するところは点線の枠からはみ出ないように

⑥誤って記入したら消しゴムでよく消し、しかも消しカスがついていないように

調査項目は十六

今回の調査事項は十六項目ですしかも、あまり、個人にたち入る項目はなくなっています。

また、内容をこの統計以外に使ったり他人に知らせたりすることは法律で禁じられています。したがって秘密は守られますので、正しく記入していただきますようご協力をお願いします。

調査事項は次のとおりです。

〔基本的なもの〕

①氏名②男女の別③世帯主との続き柄④出生の年月⑤配偶者の有無⑥国籍

〔経済活動に関するもの〕

⑦就業状態⑧従業上の地位⑨勤め先・業主などの事業の種類⑩本人の仕事の種類

〔通勤・通学に関するもの〕

⑪従業地または通学地

〔世帯・住居に関するもの〕

⑫世帯の種類⑬世帯人員⑭住居の種類⑮世帯が使用する居住室数⑯世帯が使用する居住室の畳数

本町の人口は？ 予想投票を募集

国勢調査による阿知須町の人口は何人でしょうか。町ではあなたの予想投票を募集しています。

応募資格は町内在住者なら誰でもよろしい。

▽方法＝ハガキに人口一つだけ書いて住所、氏名、年齢を記す。一人一枚限り

▽送り先＝阿知須町役場企画係

▽賞＝適中者には賞。適中者がない場合は正解に近い人三人に記念品贈呈

▽発表＝十二月号本紙

なお、県でも山口県の人口予想投票を募集しています。県の場合ハガキ何枚でもよろしい・締切り日、記入法は町と同じ。送り先は山口市黒町・山口県企画部内・国勢調査山口県実施本部

お知らせ

あなたの名前は載っていますか

選挙人名簿みせます

永久選挙人名簿に自分の名前が載っているかどうか確めたい人は九月十一日から十五日まで、町選挙管理委員会（町役場総務課内）で名簿をご覧ください。

選挙人名簿は毎年九月一日現在の有権者を載せることになっています。選挙があるときは、これに補充したり、削除したりしますが一ばんの基になるのはこの永久選挙人名簿です。

九月一日現在で阿知須に三か月以上引続いて住んでいる二十歳以上の日本国民が今月の名簿に載ります。

もし、この条件がそろっていて名簿に名前の載っていない人は申出ることができます。

老人や成人の健康診査

町では、老人健康診査と、成人の循環器疾患健康診査をつぎのとおり行います。希望者は最寄りの会場へお出かけください。

▽対象 老人健康診査 65歳以上
循環器疾患健康診査 35～64歳

▽日時と会場
25日（木） 東条公民館
26日（金） 阿小講堂
27日（土） 岩倉保育園
29日（月） 井関小学校
時間いずれも後一時半～三時半

▽料金 無料

三歳児検診

町では三歳児検診をつぎのとおり行います。

▽日 時＝九月三十日＝岩倉を除く阿小校区。十月一日＝岩倉を含む井小校区

▽場 所＝町役場

▽対象者＝四十六年十月一日から四十七年十月一日の間に生まれた幼児

拘縮症の療養相談

▽料 金＝無料

▽時 間 午前九時半～十一時半

▽場 所 山口保健所

県では、大脳四頭筋拘縮症や、上腕筋拘縮症など、身体が不自由な児童や機能障害を招くおそれのある児童を対象に療養相談（無料）を実施しています。

▽相談日 毎月第一木曜日

バレーなど四種目争う

「体育の日」行事

十月十日は「体育の日」です。

この日、町では、町内親ぼく球技・婦人バレーボール大会をつぎのとおり開きます。ふるってご参加ください。

▽日時 十月十日午前八時

▽場所 阿中・阿小グランド

▽競技方法 十五地区対抗

▽参加資格 町内在住者（中・高校生はだめ）

▽チーム編成

①一般バレーボール＝一般男女混成で一チーム女子三名以上

②卓球＝一般男女混成で一チーム男子二名、女子一名

③ソフトボール＝三十～三十四歳二名、三十五～三十九歳二名、四十歳以上三名、一般女子二名

④婦人バレーボール＝既婚婦人

▽申込み＝十月三日までに町教育委員会へ。

9月のメモ

9日 育児相談（後1時半～3時）
12日 栄養教室（前10時）
園芸教室
15日 敬老会（前10時半・阿中体育館）
16日 婦人学級（後1時半）
18日 幼児交通指導（各保育園）
19日 陶芸教室（後1時半・阿中美術室）
21日 阿知須中学校運動会
23日 幼児学級（前9時半）
〃 あじのす大学（後1時半）
24日 秋分の日
26日 版画教室（後1時半・阿中美術室）
28日 阿知須・井関両小学校運動会
〔時間のある催しは役場〕

たばこは町内で

善意はここに

〔社会福祉協議会へ〕

◇香典返し▽一万円＝高井マサ子さん（南祝）は夫高井佐一さんの▽一万七千円＝西村伝十さん（砂三）は姉上野ノシさんの▽三万円＝白井昭祐さん（北祝）は長男保夫さんの▽一万五千円＝原田精一さん（源河）は父賀茂さんの▽二万円＝縄田義和さん（縄南）は父百合人さんの香典返しとして。

◇阿知須町商工会青年部（松重仁部長）は土曜夜市のがらくた市で売上金四万四千七百七十円を。

◇二万円＝国重進さん（千葉県市原市能満・向井関出身）は広報紙送料として。

人と自転車の事故防止……秋の交通安全運動（9月22日～10月1日）

あじす再発見 ㉒

菊屋開作と農地改革

○―本町と山口市佐山の境を流れる土路石川。その河口にある集落を「牧の里」という。行政区は岩辻に属し、人家は六軒。そこから川沿いに阿知須干拓に連なる約二十ヘクタールの水田地帯がある。正式には「牧の江開作」人呼んで"菊屋開作"という。今年は日照りが続いているがそれでも十アール（一反）当り十俵程度の収穫が見込まれるほどの穀倉地帯である。

○―あじす手話＝中野真琴著＝によると嘉永五年（一八五一年）に阿知須百姓惣兵衛が領主・右田毛利公に開作築立を願い出て着手したとあり、完和二年十二月九日の連合軍司令部（GHQ）の土地改革に基づくもので地主がその地に最後に菊屋孫太郎氏（萩市呉服町）の手にわたったという（註・このことの詳細は郷土史編さん委員の手で資料集収中）

○―以来、この地は明治、大正、昭和と菊屋一町四反九畝十三歩（約二、五ヘクタール）にのぼった。つまり家に引継がれてきたが、太平洋戦争後、農地改革で小作者の手に渡ったとあり、完成までに出資者が何人か変わる。大蔵省が買上げ、小作人に売渡す形がとられた。また、その地にいろいろ法人一）不在百三十六戸であるとも（在地主）一町歩（一ヘクタール）以上の農地は保有できなかったという（註・このことの詳くなった。その結果、地主は細り逆にそれまで自分の田畑が少なかったのに一躍大地主になるというものも現われた。

○―菊屋氏の場合、これで手離した土地は牧の江開作一帯で二十一町四反九畝十三歩（約二、五ヘクタール）にのぼった。つまり阿知須中学校運動場の約十倍の広さである。

○―本町農地改革の記録によると表彰され、賞状＝写真＝とペナントを受けました。同会は三年前にも毎日新聞社から表彰されており、二十九年に発足以来、自主的に計画だった活動が認められたもの。

同会の会員は現在約二十名。地区の人々の援助も活動を盛んにしている。

（写真は牧の江開作の一部）

町の隅からこんにちわ ⑨

夏の日の思い出

スポーツ少年団員

△夏休みが終って二学期が始ったが、この休み中にチビっこたちの体力づくりやグループ活動が盛んであった。中でもスポーツ少年団（ソフトボール）が話題となった。そこで会員の声を拾ってみると▽

◇・長門峡へ行きました。三・二キロの道を歩いて行って帰りました。誰も弱ったものはいません。夏休み一ばんの思い出です。

（阿小五年　浜崎晋一郎）

◇・宿題のトーチムボールをいっしょにつくりました。みんなといっしょだったのでよくできました。

◇・遠足三日の早起き体力づくり工作、読書会、ハイキング、作文発表会、親子ソフトボール大会などやりましたが子どもたちがよく頑張りました。おかあさんたちもよく理解され、協力もしていただきました。会員は一年生から六年生ほかの小学生七十数人おります。子どもたちと一緒の体力づくりは二年ぐらい前からやっています。きびしいことも言いますが、少しでも役等に役立てて幸いです。

（リーダー・西村安則・砂三）

＝写真は作文発表

（阿小四年　福田治子）

町内あれこれ

引野子ども会が全国表彰に

引野子ども会は二のほか全国子ども会連合会から優良子ども会としてその結果「右よし、左よし、後方よし」ときちんとした確認で、全員が百点以上の優秀な得点を取った前山チームが合計千九十四点で初優勝しました。

競技は九チームが参加、一チーム小・中・一般男女十名編成で、安全の確認、手の合図、右折、左折の方法、交通規則、関門の通過等が正しく行われているかなど、一人百二十点満点、一チーム千二百点満点で競われました。

個人の最高は百十七点の磯崎英規さん（細田北）。

（当日の成績）

①前山千九十四点②小古郷千八十点③鴨生原千五十七点④浜④引野⑥砂郷⑦東条⑧赤浜

＝右よし　左よし＝

前山が初優勝

自転車安全運転

自転車による交通事故防止をはかるための、第三回自転車乗り方競技会（町交通安全対策協議会など主催）が八月二十二日阿中体育館で開かれました。

犬の登録と狂犬病予防

今年二回目の狂犬病予防接種をつぎの日程で行います。

飼い犬は年二回予防接種を受けることになっています。最寄りの会場で必ず受けるようにしてください。

なお、生後三か月以上の犬の登録も年一回行っていただくことになっています。済んでいない犬はこの機会に登録してください。

登録料三百円、接種料五百円。ただし、指定期日以外の予防接種料は千円です。

九十歳以上が十人

敬老会に六百二十五人招待

九月十五日は「老人の日」。この日生まれた人を迎える人は八とも町では七十歳以上のお年寄り人、九十歳以上十人です。

学体育館で敬老会を開きます。

ことしの招待者（明治三十八年末以前に生まれた人）は六百二十五人（昨年より十六人増）です。

このうち米寿（八十八歳（明治一十年四月一日～二十一年三月三十

〔九十歳以上の高齢者〕

西中衛門　中村　明治10年9月

片山　ヤス　河内

片山　マツ　河内

塚本　ヒテ　野口

哥川　スエ　河内

戎谷　賢蔵　岡

岡本　ミス　旦東

細本　坂市　小南

杉永キクノ　旦北

西村　伝松　砂三

中村　ユキ　井関

河崎　トシ　浜表

〔栄寿該当者〕

浜西　サツ　細北

村田　万一　恵比須

河村　幸一　岩前

江本チキ子　砂三

伊藤　ヒサ　源河

藤田　梅吉　引野

砂郷が優勝

子ども会ソフト

第十七回町内子ども会ソフトボール大会は、十五チームが参加し八月六・七の両日、阿中グランドで開かれました。

大会は、一日目が一・二回戦、二日目準決勝・決勝と行われ、好試合が展開されました。

決勝戦は三試合すつ勝ち進んで来た砂郷チームと岩倉チームの対戦となり、11対7で砂郷チームが優勝しました。三位は東条。

祝電は「予約」を

電報のじょうずな打ち方

結婚、各種式典など催し物の多い季節になりました。

大安の日や式典の多い日には電報の受付は係（一二番）に祝電の申込みが殺到し、電話がなかなかつながらないときが多いようです。また、配達にも手間どって希望の時刻までに届かないことも懸念されます。

こんなときには「配達日時指定」の予約電報を利用すると便利です。

これは挙式など日時があらかじめわかっているとき、その時刻にタイミングよく届くよう日時を指定しておく電報です。

十日前から予約を受けますが、宇部電報電話局では遅くても二三日前までに申込んでほしいといっています。

電報料金は二十五字まで百五十円、それを超えると五字までごとに二十円加算されます。電話で申込むときはこれに二十円追加です。料金は電話料と一緒に納付すればよろしい。

指定は三十円、慶弔用は特別紙代が三十円加算されます。

役場の窓

◆・スポーツの秋到来です。県下町村職員ソフトボール大会の山口ブロック予選がこのほど、本町引受けで行われました。

佐波、山口、吉敷地区から五チームが参加、本町が優勝し、近く県大会へ出場します。

○―セイタカアワダチソウが花をつける時期が近づきました。男子職員はこの時期を前に根絶班を編成、公共用地に生えている草の引き抜きに当っています。昨年は刈り取りましたが、これでは効果が少ないので引き抜き作戦に変えたのです。みなさんの所有地も引き抜いていただくようお願いします。

○―九月一日付で中野重世（細田北・25）が教育委員会に入りました。ライフル射撃の地方公認審判員の資格をもっています。よろしく。

慶弔録

出生（おすこやかに）

父　続柄　子の名　月日　部落

江本賢治　長男　雅治　7.20　細南

福本　守　長女　佳世　7.28　井関

岡村嵩暎　二男　陽司　7.29　岩辻

末岡　香　長男　岳史　8.7　前山

松崎幸久　長男栄三郎　8.10　飛石

橋本省三　長女　操　8.13　砂二

中村公治　長女　純子　8.7　浜

西岡良尚　長女　祐子　8.8　前山

藤重栄治　長男　望　8.14　小西

広瀬　巧　二女　美穂　8.13　南祝

吉村　勲　三女貴美子　8.16　飛石

婚姻（おしあわせに）

藤井　勤　日西

国子（益冨）　山口市江崎

中村百合明　岩上

佳代子（松原）　阿武郡阿東町

藤本敏雄　小西

恭子（伊達）　小野田市小野田

鶴丸達夫　吉敷郡小郡町

美智子（村田）　細北

村重紀明　南祝

千種（稲本）　福岡県須恵町

死亡（ご冥福を祈ります）

氏　名　月日　住令　部落

上野　ノシ　8.1　80　細北

酒迎フジノ　8.8　76　西条

松本　義明　8.20　59　小東

小東　松尾　君代

福田百合人　8.24　72　細南

小西　松尾ウメコ

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見、お気づきのことなど未発表のものをお寄せください

短歌

砂二　橋本　淑子

若びとは働く祖父の眉細し働くことが生がひと言ふ

浜　正司ウメノ

金鶏の滝に雨雲奪れてひと鳴けく見ゆる不動明王

小東　松尾　君代

戦争が終りて今は三十年戦地を語る門国き夫

小西　平海アサノ

七十余年生ききたりし思い出を友と語りぬ夏の夜ふけて

小西　薄本　喜一

盆踊り太鼓の音に合せつつ腰の痛さも忘れて踊る

小西　藤重アヤ子

今日もまた暑さきびしと天の言ふ港に映る朝焼の色

春をそう植えしダリヤは咲きおり忘れしままの窓の茂みに

北祝　原田　翠恵

モーターの音高き音に熱気こもるおしめの山を崩してたたむ

砂一　松代　二郎

滲みでる汗を拭へば日に焼けし首よりにほう吾の体臭

北祝　原田　英子

解かれたる家跡に残る池と石と花つけし合歓木は蕾を閉じて居り

恵比須　中村美津子

傘を持ちて迎へに来たる保育園吾児は見つけて窓に手を振る

砂三　渡辺　宮子

磨崖仏前なる小さ盆踊りに蒸暑を被り奮戦しつむ

砂三　藤永ミツノ

益踊り老若男女輪になりて新仏供養の踊りはずめり

このタベみ仏をおがむがそばに孫も座りて手を合はせ居る

岩上　上重　朝子

ガラス戸を網戸に替へしこのタベ列車の音の近く聞こゆる

飛石　砂村ヤス子